



留萌市中期財政計画 について

市では、「第2期留萌市中期財政計画（令和3～7年度）」に基づき、健全で持続可能な財政運営を推進していきます。

問 市・財務課 TEL 56-0025

「第2期留萌市中期財政計画」

▼「留萌市中期財政計画」は、市の財政状況をさまざまな視点から分析・検証することで、今後5年間の財政見通しに基づく、持続可能な安定した財政運営を行っていくことを目的として、います。また、市が抱えているさまざまな課題を解決し、将来に向けたまちづくり推進していくための基盤となるものです。

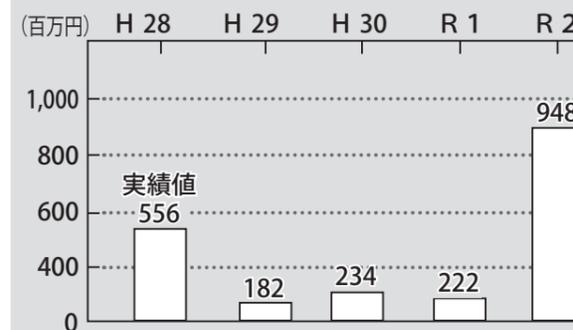
「第1期計画（平成28年度～令和2年度）」が終了し、令和3年度より「第2期計画（令和3年度～令和7年度）」がスタートし、計画に引き継がれた5つの財政規律に基づき、より一層健全な財政運営に向けて取り組んでいます。

■第1期計画の実績と、第2期計画での財政規律

(1) 連結実質赤字比率（健全化判断比率）

【第1期計画実績】

一般会計や企業会計（水道・病院）などを合算した、留萌市全体の決算において、連結実質赤字は発生していません。



【第2期計画での財政規律】

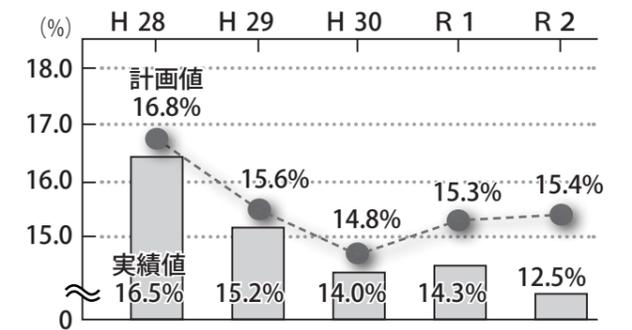
●連結実質赤字比率：黒字維持

令和3年度決算において、連結実質赤字は発生しない見込みです。

(2) 実質公債費比率（健全化判断比率）

【第1期計画実績】

計画的な市債発行や繰上償還の実施により元利償還金が減少し、実質公債費比率は計画値の15.4%を下回る12.5%となりました。



【第2期計画での財政規律】

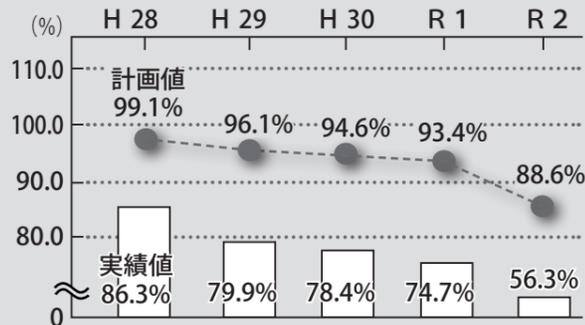
●実質公債費比率：計画最終年度に10%以下

令和3年度決算で11.1%になる見込みです。

(3) 将来負担比率（健全化判断比率）

【第1期計画実績】

計画的な市債発行に繰上償還の実施により市債残高が減少し、将来負担比率は計画値の88.6%を下回る56.3%となりました。



【第2期計画での財政規律】

●将来負担比率：計画期間中100%未満

令和3年度決算で49.5%になる見込みです。

第1期計画で掲げた5つの財政規律について、(5) 財政調整基金残高は、平成30年度に病院事業会計へ3億円の特別支援を行ったこともあり、目標達成には至りませんでした。それ以外の(1)～(4)の財政規律については確実に目標を達成することができました。

(4) 市債発行額（市独自基準）

【第1期計画実績】

計画期間中の投資事業の市債発行額は42億2,140万円となり、財政規律で定めた「市債発行額50億円以内」の発行額となりました。

【第2期計画での財政規律】

●市債発行基準：9億円（計画期間内45億円）

令和3年度は基準である9億円を上回る事業債の発行を予定しておりますが、計画期間内の発行総額が45億円以内となるよう努めます。

(5) 財政調整基金残高

【第1期計画実績】

計画最終年度である令和2年度末残高は12億3,131万円となり、財政規律を2億9,318万円下回りました。

【第2期計画での財政規律】

●財政調整基金残高：標準財政規模の20%

令和3年度末残高は約13億7,600万円となる見込みで、標準財政規模の20%（約15億3,900万円）を下回る見込みです。

■今後の財政見通し（令和4～8年度）

▼留萌市中期財政計画では、計画の進行管理を目的として、毎年向こう5カ年の財政見通しを作成し、公表することとしています。

(単位：百万円)

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	総額	一般財源								
収入	13,369	8,573	13,217	8,512	13,123	8,431	13,178	8,478	13,117	8,404
支出	13,384	8,363	13,392	8,685	13,233	8,539	13,364	8,664	13,287	8,575
収支差引額	0		-173		-108		-186		-171	
財政調整基金 法定積立見込み	100		100		100		100		100	
財政調整基金 残高見込み	1,476		1,403		1,395		1,309		1,238	

令和5年度から令和8年度に合計6億3,800万円の収支不足が見込まれる中、今後の市立病院の経営状況も懸念されており、引き続き厳しい財政運営が予想されます。

この収支不足を圧縮するため、市税等の自主財源の確保や、全ての事業について検証して見直しを図るとともに、留萌市応援寄附金も活用しながら地域の課題解決に取り組み、持続可能な財政運営を進めていきます。